



2025年7月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年3月12日

上場会社名 株式会社ベストワンドットコム 上場取引所 東
 コード番号 6577 URL <http://www.best1cruise-corp.info/>
 代表者（役職名）代表取締役会長（氏名）澤田秀太
 問合せ先責任者（役職名）上級執行役員経営企画部長（氏名）国門量祐 TEL 03-5312-6247
 半期報告書提出予定日 2025年3月12日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年7月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年8月1日～2025年1月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期中間期	1,030	△18.8	49	—	53	—	35	—
2024年7月期中間期	1,268	475.6	△63	—	△53	—	△53	—

(注) 包括利益 2025年7月期中間期 35百万円(—%) 2024年7月期中間期 △53百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年7月期中間期	23.62	23.38
2024年7月期中間期	△37.23	—

(注) 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年7月期中間期	2,740	1,167	42.4
2024年7月期	2,869	1,151	40.0

(参考) 自己資本 2025年7月期中間期 1,161百万円 2024年7月期 1,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年7月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2025年7月期	—	0.00	—	—	—
2025年7月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年7月期期末配当金の内訳 普通配当 15円 創立20周年記念配当 3円

3. 2025年7月期の連結業績予想（2024年8月1日～2025年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	2,500	△20.3	310	17.5	300	7.6
	～3,175	～1.2	～425	～61.1	～415	～48.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料8頁「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年7月期中間期	1,521,700株	2024年7月期	1,521,200株
② 期末自己株式数	2025年7月期中間期	13,786株	2024年7月期	13,786株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年7月期中間期	1,507,847株	2024年7月期中間期	1,444,641株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますので、ご了承ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社を取り巻く経営環境は、物価上昇やアメリカの政策動向等による不安定要素が顕在化したものの、わが国の2024年10～12月期の実質GDP成長率が前期比年率+2.8%と3四半期連続のプラス成長となり、個人消費もプラスを維持しました。

このような状況のもと、当社グループは、当社単独でチャーターする2025年6月2日出発と6月5日出発のコスタセレーナ金沢発着クルーズのPR活動や販売活動、その他の日本発着外国船を中心としたクルーズ旅行の販促、金沢営業所や大阪営業所の開設等を行ってまいりました。昨年6月に引き続き、2年連続でコスタセレーナ金沢発着クルーズをチャーターして催行いたします。そのPR活動として、石川県でのテレビCM放映、日本各地での新聞広告出稿やリアルな会場を借りてのセミナーの開催、石川県出身であるダンディ坂野さんのイメージキャラクターとしての起用等の活動を行ってきました。早割キャンペーンや特別プランを提供する等、販促活動にも注力してきました。チャータークルーズ以外のクルーズに関しても、「創業20周年 お年玉総額1億円 スーパー還元お年玉セール」等の大型キャンペーンを実施することにより、冬のMSCベリッシマ那覇発着クルーズやゴールデンウイークに運航されるクルーズ各船への送客を強化してまいりました。また、新たな試みとして、金沢と大阪に営業所を設けました。対面でのお客様対応やクルーズセミナーの開催、BtoB営業等を行い、地域に根ざした営業所運営を行っていくことを目的として開設いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は1,030,029千円（前年同期比18.8%減）、営業利益は49,214千円（前年同期は63,624千円の営業損失）、経常利益は53,802千円（前年同期は53,002千円の経常損失）、親会社株主に帰属する中間純利益は35,621千円（前年同期は53,778千円の親会社株主に帰属する中間純損失）となりました。

なお、当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超える為、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて129,210千円減少し、2,740,072千円となりました。これは主に、旅行前払金が259,240千円増加した一方で、現金及び預金が344,482千円、未収入金が41,407千円減少したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べて145,969千円減少し、1,572,190千円となりました。これは主に、契約負債が25,618千円増加した一方で、長期借入金が99,762千円、1年以内返済長期借入金が26,298千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べて16,759千円増加し、1,167,882千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益35,621千円の計上と剰余金の配当22,611千円の計上により利益剰余金が13,010千円増加したことによるものであります。

(1) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、以下に記載のキャッシュ・フローにより、1,354,566千円となり、前連結会計年度に比べ344,482千円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動による資金収支は197,482千円の支出（前年同中間期は89,859千円の支出）となりました。これは主に、旅行前払金の増加額259,240千円、税金等調整前中間純利益53,802千円の計上、法人税等の支払額35,636千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動による資金収支は12,527千円の支出(前年同中間期は12,964千円の支出)となりました。これは固定資産の取得による支出が8,659千円、差入保証金の差入による支出が2,885千円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動による資金収支は145,795千円の支出(前年同中間期は221,235千円の収入)となりました。これは主に長期借入金返済による支出が126,060千円、配当金支払額が22,576千円あったことによるものであります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当中間連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年7月期(通期)の連結業績予想につきましては、2024年12月11日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当中間連結会計期間 (2025年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,602,898	1,258,416
旅行前払金	430,380	689,620
未収入金	147,795	106,387
その他	111,504	109,370
流動資産合計	2,292,578	2,163,795
固定資産		
有形固定資産	136,056	134,422
無形固定資産		
のれん	32,935	31,094
その他	92,816	93,651
無形固定資産合計	125,751	124,746
投資その他の資産	312,477	314,489
固定資産合計	574,286	573,658
繰延資産	2,418	2,618
資産合計	2,869,283	2,740,072

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当中間連結会計期間 (2025年1月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	245,908	219,610
未払金	37,731	19,800
未払配当金	-	35
未払法人税等	45,787	22,451
役員賞与引当金	-	3,475
契約負債	611,812	637,430
その他	22,901	15,105
流動負債合計	964,141	917,909
固定負債		
長期借入金	742,823	643,061
その他	11,194	11,219
固定負債合計	754,018	654,280
負債合計	1,718,160	1,572,190
純資産の部		
株主資本		
資本金	567,402	567,835
資本剰余金	483,902	484,335
利益剰余金	132,618	145,628
自己株式	△35,280	△35,280
株主資本合計	1,148,642	1,162,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,341	△1,443
その他の包括利益累計額合計	△1,341	△1,443
新株予約権	3,822	6,807
純資産合計	1,151,122	1,167,882
負債純資産合計	2,869,283	2,740,072

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)
売上高	1,268,126	1,030,029
売上原価	1,091,266	769,646
売上総利益	176,860	260,383
販売費及び一般管理費	240,484	211,169
営業利益又は営業損失(△)	△63,624	49,214
営業外収益		
受取利息	1,351	1,018
為替差益	5,932	9,127
受取配当金	0	0
補助金収入	8,340	-
ポイント収入額	556	820
その他	65	123
営業外収益合計	16,245	11,090
営業外費用		
支払利息	3,590	4,008
新株予約権発行費償却	1,205	810
投資事業組合運用損	828	1,682
営業外費用合計	5,624	6,501
経常利益又は経常損失(△)	△53,002	53,802
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△53,002	53,802
法人税等	775	18,181
中間純利益又は中間純損失(△)	△53,778	35,621
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△53,778	35,621

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△53,778	35,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	252	△102
その他の包括利益合計	252	△102
中間包括利益	△53,526	35,519
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△53,526	35,519
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△53,002	53,802
減価償却費	9,090	9,421
のれん償却額	1,840	1,840
受取利息及び受取配当金	△1,351	△1,018
支払利息	3,590	4,008
為替差損益(△は益)	△5,932	△9,127
補助金収入	△8,340	—
契約負債の増減額(△は減少)	△16,758	25,618
旅行前払金の増減額(△は増加)	67,885	△259,240
未収入金の増減額(△は増加)	△94,688	41,412
未払金の増減額(△は減少)	△1,100	△17,930
未払費用の増減額(△は減少)	△284	△7,402
その他	5,758	△235
小計	△93,292	△158,850
利息及び配当金の受取額	1,346	1,013
利息の支払額	△3,590	△4,008
補助金の受取額	8,340	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,662	△35,636
営業活動によるキャッシュ・フロー	△89,859	△197,482
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△12,119	△8,659
投資有価証券の取得による支出	△844	△982
差入保証金の差入による支出	—	△2,885
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,964	△12,527
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	250,000	—
長期借入金の返済による支出	△132,972	△126,060
配当金の支払額	—	△22,576
新株予約権の行使による株式の発行による収入	105,446	860
新株予約権の発行による収入	900	2,991
新株予約権の発行による支出	△2,140	△1,010
財務活動によるキャッシュ・フロー	221,235	△145,795
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,932	11,323
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	124,343	△344,482
現金及び現金同等物の期首残高	1,266,519	1,699,048
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,390,862	1,354,566

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間(自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)

当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

当中間連結会計期間(自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)

当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は次のとおりであります。

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)
海外旅行	1,192,095	963,990
国内旅行	60,110	48,050
その他	15,920	17,989
顧客との取引から生じる収益	1,268,126	1,030,029
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	1,268,126	1,030,029

(重要な後発事象)

(多額の資金の借入)

当社は、2025年2月19日開催の取締役会決議に基づき、運転資金の拡充のため、以下の通り資金の借入を実行致しました。

- (1) 資金使途： 運転資金
- (2) 借入先： 株式会社みずほ銀行、株式会社三井住友銀行、株式会社群馬銀行、株式会社商工組合中央金庫
- (3) 借入金額： 総額1,000,000千円
- (4) 借入利率： 変動金利(基準金利+スプレッド)
- (5) 借入実行日： 2025年2月28日
- (6) 借入期間： 5年
- (7) 担保の有無： 無担保、無保証